

令和2年7月6日

報道機関 各位

「災害を観る」シンポジウム：オープンディスカッション開催

7月7日（火）9時より、「命を守るために。防災研究が描く未来」をテーマに、公開型のディスカッションを富山大学都市デザイン学部の教員とNHK富山放送局とで共同開催します。3名の研究者をお招きし、富山で何ができるのか、何に備えれば良いか、今後どのように災害と向き合っていくかの知見を深めるとともに、出水期に向けた「命と生活を守るために不可欠な知識と未来像」を共有することを目指します。

これに先立ち、令和2年6月9日・10日に参加者限定の「災害を観る」シンポジウムを開催しております。富山大学は平成30年度に理学・工学・社会科学からなる学際的な教育研究を実現することを目的として都市デザイン学部を創設しました。この利点を活かし、令和元年度の様々な災害を「理学・工学・社会科学」の3つの研究分野から、「予防力・予測力・対応力」の社会が持つべき力として還元することを目的に企画しました。令和元年度の災害をふりかえりながら、自然現象としての気象・気候を可視化するとともに、工学的な予防策の現状と未来、社会科学的な対応策の新しい取り組みなど、実りある講演がなされました。

令和元年度は、6月の山形沖地震に始まり、台風15号による長期停電、台風19号による同時多発大規模水害など、多くの災害に直面し、改めて我々の社会の脆弱性に気づかされました。防災研究は年々、進化を遂げているにも関わらず、社会への還元がまだまだ不十分であることを、我々研究者も痛感したものでした。

今まさに九州では豪雨により浸水・土砂災害が発生し、多くの尊い命が失われました。ぜひとも富山の県民や行政、地元企業の皆様にも、命を守るための防災研究を知っていただきたいと考え、「災害を観る」シンポジウムのディスカッションを公開型で実施いたします。

つきましては、ご参加のうえ、取材・報道方よろしくお願い致します。

記

開催日時：2020年7月7日（火） 09：00 ～ 12：00

開催場所：YouTube ライブ配信

アクセス情報は以下のホームページに掲載しております

<http://gclab.sus.u-toyama.ac.jp/vd/#event>

（配信映像は録画し、当ホームページ上にて後日公開を予定しています）

News Release



【発信】国立大学法人
富山大学総務部総務・広報課
(TEL) 076-445-6028
(FAX) 076-445-6063

プログラム：

- 1.開会の挨拶
- 2.第1回「災害を観る」シンポジウムの概要紹介
- 3.ディスカッション：「命を守るために。防災研究が描く未来」

モデレータ：鹿沼 健介	(NHK 富山放送局 シニア・アナウンサー)
パネラー：稲津 将	(北海道大学 大学院理学研究院 教授)
三隅 良平	(防災科学技術研究所 水土砂防災研究部門 部門長)
能島 暢呂	(岐阜大学 工学部 社会基盤工学科 教授)
高木 康伸	(内閣官房副長官補付 参事官補佐)
安永 数明	(富山大学 都市デザイン学部 教授)
井ノ口 宗成	(富山大学 都市デザイン学部 准教授)

4.閉会

以上

【本件に関する問い合わせ先】

「災害を観る」事務局（富山大学 都市デザイン学部学部（井ノ口研究室内））

TEL. 076-411-4890

Email : saigai-info@sus.u-toyama.ac.jp